

レジメン名		リツキサン維持療法(90分間投与法)					
対症疾患(癌種)		悪性リンパ腫(B細胞性非ホジキンリンパ腫のみ使用可)					
適応分類		<input checked="" type="checkbox"/> 初発 <input checked="" type="checkbox"/> 進行再発 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> その他					
No.	薬剤(商品名)	投与量(基準値)	投与方法	投与ルート	投与時間速度	投与日(Day●)	投与上の注意点
1	ベポタスチンベシル酸塩0D錠10mg	10mg 1錠	内服		リツキシマブの投与30分前	d1	・看護師は、統合セットから事後入力 ・備考②参照
2	ロキソプロフェン錠	60mg 1錠	内服			d1	
3	生食 50ml (ルート接続)	適宜必要量	点滴静注	メイン		d1	残量廃棄
4	リツキサン (規格:100mg/10mL・500mg/50mL)	375mg/m ²	点滴静注	メイン	最初の30分 →100mL/h その後60分 →200mL/h (備考①参照)	d1	
	生食 250mL	全量を250mLに調製 (希釈濃度は1~4mg/mL)					
5	生食 50ml (ルートフラッシュ)	適宜必要量	点滴静注	メイン		d1	残量廃棄
備考	<p>①B細胞性非ホジキンリンパ腫の2回目以降の投与にあたり、下記条件に該当する場合、上記方法で90分間投与することができる(投与量の20%を最初の30分間で投与し、その後60分で残りの80%を投与)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床的に重篤な心疾患を認めないこと ・初回投与時に発現した副作用が軽微 ・末梢血リンパ球数が5000/μL未満 <p>②リツキシマブによるinfusion reactionを軽減するために、投与30分前に抗ヒスタミン剤・解熱鎮痛剤の前投与を行う。</p> <p>※infusion reactionについて…投与中又は投与開始後24時間以内に多くあらわれる。主に初回投与時に多く発現するが、本剤投与中はバイタルサインのモニタリングや自覚症状の観察を行い、投与後も患者の状態を十分に観察すること。</p>						

インターバル日数(1コース期間)	8週毎
総コース数	12コースまで

投与中止・延期・減量基準(別紙添付可)	副作用時の減量方法:特記なし 腎機能障害時の減量:必要なし 肝機能障害時の減量:必要なし
主な副作用	感染症、infusion reaction 国外臨床第Ⅲ相試験(PRIMA試験)の維持療法群において、重篤な副作用、グレード3以上の副作用及び本剤との因果関係が否定できないグレード2以上の感染症は29.3%に認められ、主に気管支炎(5.2%)、好中球減少症(3.4%)、上気道感染(3.4%)、副鼻腔炎(2.2%)、白血球減少症(1.6%)、口腔ヘルペス(1.4%)、尿路感染(1.4%)、感染(1.2%)及び肺炎(1.2%)であった。